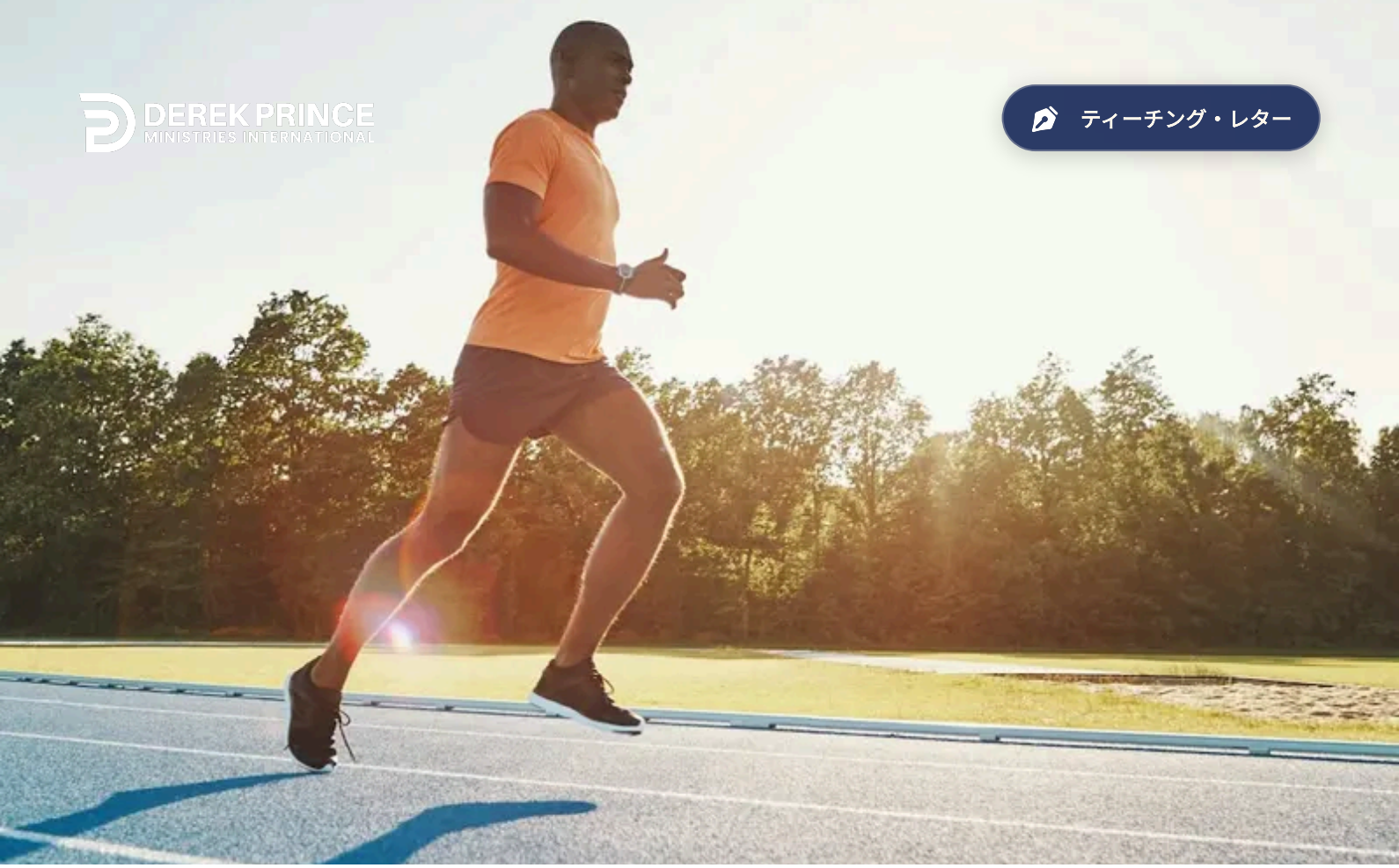

ティーチング・レター

試練への応答

試練への応答



ティーチング・レター
著者 デレク・プリンス

私たちクリスチャンはみな、試練を通ります。それらの試練は、健康や経済の危機、人間関係の崩壊、信仰ゆえの拒絶や迫害、出口の見えない長く暗いトンネルなど、様々なかたちでやってくるでしょう。どのような試練の時にも忘れてはならないことは、神は私たちの達成度よりも人格(性質)を重んじているということです。

では、私たちは試練に対してどのように応答すべきなのでしょうか。

まず、私たちは試練とこらしめを区別しなければなりません。クリスチャンは、かなり多くの場合、神のこらしめを認めることができません。その結果、私たちは主に従っていなければならないとき、悪魔に抵抗するような態度を取ってしまうのです。その態度が現わしている根本的な人格(性質)の問題は、プライドです。

妻と私は、詩篇 19篇の最後の部分を繰り返し祈っています。

「だれが自分の数々のあやまちを悟ることができましょう。
どうか、隠れている私の罪をお赦しください。
あなたのしもべを、傲慢の罪から守ってください。
それらが私を支配しませんように。
そうすれば、私は全き者となり、
大きな罪を、免れて、きよくなるでしょう。」

隠れた罪は、他の人々から、まして神から隠れてはいないのだと私は悟りました。それらは自分自身に隠れているのであって、自分で認めていない性質のあやまりです。ダビデはそれを**傲慢の罪**だと表現しています。私たちの行いが実際には神に罪であるのに、神に受け入れられると思い込む時に犯す罪です。かなり頻繁に、私たちが意識してへりくだり、私たちの性質を神に探っていただき、心の奥があらわにされることを選び取るまで、神はそのような罪を私たちに示されることはありません。

私たちが経験しているものが神からの試練であるとはっきりするなら、野球で例えれば、すべての塁の守備が万全かどうか、すなわち万全の準備ができているかを確かめる必要があります。

一塁:悔い改め

© 1997 - □□□□

悔い改めは、おそらくクリスチャンの基本的教理で、最近の説教者はあまり強調しないものでしょう。「信じるだけでいい」というのは、耳に優しいメッセージですが、聖書的ではありません。新約聖書の最初から最後まで、そのメッセージは**まず悔い改め、そして信じなさいです。**私たちに罪があるなら、悔い改めから来ない信仰はすべて人間的な偽物にすぎません。それは、本物の信仰がもたらす結果を生み出すことはありません。

真の悔い改めをシンプルに表わすものは、車がUターンすることです。あなたは正しい道を進んでいないと気づいて車を止め、Uターンします。そのあとあなたは反対方向へ進みます。もし、あなたが反対方向へ方向転換しないままでいるなら、あなたは真の悔い改めをしていないことになります。

二塁: 献身

ローマ 10:9によると、救いには2つの条件があります。神がイエスを死者の中からよみがえらせたことを心で信じること、イエスは主であるとあなたの口で告白することです。

イエスを主として告白する時、あなたはイエスに全生涯を全面的にささげるのです。あなたの時間、あなたのお金、あなたの賜物、あなたの優先順位、あなたの人間関係。あなたは何ひとつ自分のために留めることはできません。ある人がこう言いました。「イエスがすべての主でないのなら、イエスは全然主となっていないのだ」と。

三塁: 聖書への態度

サタンは、*「神は、ほんとうに言われたのですか」*(創世記 3:1)、と神のことばの真理を疑うようにそそのかし、私たちの最初の両親であるアダムとエバに堕落をもたらしました。

イエスご自身は聖書を神のことばと呼んで、*「聖書は廃棄されるものではないから...」*(ヨハネ 10:35)と言われたとき、聖書にご自身の神の権威の証印を押されました。

パウロは、*「聖書はすべて、神の霊感によるもので」*(IIテモテ 3:16)とはっきりと述べています。

聖書の権威に疑問を持つことは誰にも支払えない高価な代償を伴います。それは、エデンの園での出来事と同じぐらい、今日でも大惨事への道です。

本塁: 正しい関係

正しい教理はクリスチャン信仰の基盤です。正しい教理を正しく適用することは、正しい関係を生みします。私たちの個人的な関係は、私たちが公言する教理を映し出すべきです。

イエスご自身は、正しい関係を保つことに大きな強調を置きました。イエスは私たちに罪を犯す兄弟の取り扱いに明確なガイドラインを与えました(マタイ 18:15-17)。山上の説教において、イエスはこう警告しています。*「あなたを告訴する者とは、あなたが彼といっしょに途中にある間に早く仲良くなりなさい。」*(マタイ 5:25)

イエスは厳粛な警告で模範の祈りを締めくくっています。*「しかし、人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの罪をお赦しになりません。」*(マタイ 6:15)

どのような試練の時にも、心の中に苦々しさや憤り、赦さない思いを隠し持っていないかどうか、自分の態度と人間関係を注意深く探らなければなりません。

また、間違った人々とは、正しい関係を持つことができないことを私たちは覚えておく必要があります。パウロは私たちに警告しています。*「思い違いをしてはいけません。友だちが悪ければ、良い習慣がそこなわれます。」*(Iコリント 15:33)。聖くない人々と故意に付き合っているなら、私たちは聖い生活を送ることはできません。そのような関係はすべて、神のことばの鋭い剣で断ち切られなければなりません。

イエスの模範

試練への正しい応答の最高の模範は、*「罪は犯されませんでしたが、すべての点で、私たちと同じように、試みに会われた」*(ヘブル 4:15)イエスご自身によって与えられています。

イエスの模範に従うことは、*「いっさいの重荷とまつわりつく罪とを捨てて、私たちの前に置かれている競走を忍耐をもって走り続けようではありませんか。信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないで」*(ヘブル 12:1-2)いることが求められます。

実際に罪深い生き方のことを取り扱うだけでは十分ではありません。私たちはまた、それ自身は罪深いものではないけれど、キリストに仕えるあらゆる努力に集中することを妨げる**重荷**を取り除かなければなりません。

ランナーは競技においてできる限り裸に近いところまで身に着けるものを減らします。不必要な重量は数グラムでも身に着けません。私たちも同様でなければなりません。以下に、私たちが取り除く必要があり得るものをいくつかあげました。

- 霊的な意味のない社会的義務
- 人々や場所、あるいはペットなどとの感傷的なつながり
- 株式、スポーツ、ファッションに対する過度の関心
- ウインドウ・ショッピング
- 金銭、健康、家族、政治についての心配。

私たちが費やしている時間や関心事に関して、2つのことを質問してみる必要があります。それはイエスに栄光を帰しているものか、それは私を霊的に建て上げるものか、についてです。

耐え忍ぶ必要

聖書の最初から最後まで求められているひとつの不可欠な性質は、忍耐です。しかし、多くのクリスチャンにとってこれは好ましい話題ではありません。私が、メッセージのテーマは忍耐ですと言ったら、「ハレルヤ」という人はわずかでしょう。時には、「忍耐の養い方を教えましょう」と言います。人々はその奥義を学ぼうと熱心に聞きます。私が続けて、「忍耐をつちかう唯一の道は、耐え忍ぶことによってです」と言います。これには、聞き取れるほどのため息の合唱が聞こえてきます。彼らのため息を言葉で表現すると、「もっと簡単な方法はないということですか」です。

そうです。容易な方法は他にありません。忍耐は、勝利あるクリスチャン生活に不可欠な要素で、それは忍耐することによってのみ養われるのです。いったんその事実を受け入れると、私たちはそれぞれの試練に正しく応答し始めることができます。私たちは次のみことばのように応答し始めます。*「さまざまな試練に会うときは、それをこの上もない喜びと思いなさい。信仰がためされると忍耐が生じるということを、あなたがたは知っているからです。」*(ヤコブ 1:2-3)

しかし、私たちは、*「忍耐を完全に働かせなさい。」*(ヤコブ 1:4)と警告されています。言い換えると、私たちは、神の目的が完全に成し遂げられるまで、忍耐し続けなければなりません。神が試練を終わらせる時まで、耐え忍ぶということです。

神が、「この試練は6か月続きます」と前もって私たちに教えてくれることはめったにありません。ですから、5か月半経ったとき、その人は言います。「私はこれ以上耐えることができない。あきらめる!」

何と悲しいことでしょう。あと15日耐えると、神の目的は果たされたのに。しかし、今そのような人は、同じ性質の欠陥を取り扱う別の試練を通らなければなりません。事実、神はご自身の目的が成し遂げられるまで、試練を撤回することはありません。私たちが忍耐を学ぶのが早いほど、私たちの霊的前進も加速されます。

Iコリント 9:25でパウロは、ヘブル書の著者のように、競技者の例を用いています。「また闘技をする者は、あらゆることについて自制します。彼らは朽ちる冠を受けるためにそうするのです…」。私たちが自制を養うときにのみ、私たちは忍耐する力を得るのです。

IIペテロ 1:5-7 でペテロは、信仰の土台からクリスチャンの性質の最高の完成、すなわちアガペの愛まで向かっていく、七つの連続したステップを挙げています。それらの段階は、

- **徳**
- **知識**
- **自制**
- **忍耐**
- **敬虔**
- **兄弟愛**
- **愛**

これは、自制が忍耐のための重要な必要条件であることを明らかにしています。忍耐のすべてのテストはまた、自制の試練でもあります。私たちの性質の様々な領域の一つでも弱さがあれば、それが明らかにされます。

感情の領域においての弱さは、恐れ、失望、落ち込みかもしれません。私たちの肉の性質は、制御できない欲望や食欲かもしれません。私たちの個人的な人間関係においては、弱さは怒りや嫉妬かもしれません。霊的な面においては、傲慢や自分に対する信頼かもしれません。

弱さの領域が何であれ、忍耐へのチャレンジに直面するとき、それが現われます。多くのクリスチャンが自制と忍耐の2つの段階に打ち勝つことが決してできないという事実は、悲劇的です。結果的に。彼らは残りの3つの段階である、敬虔、兄弟愛、愛というクリスチャンのさらなる高い徳へと発展することはありません。

前の学びの書簡と同じ聖句でこの書簡を締めくくるのがふさわしいと思います。*「試練に耐える人は幸いです。耐え抜いて良しと認められた人は、神を愛する者に約束された、いのちの冠を受けるからです。」*(ヤコブ 1:12)

ティーチング・レター

原稿: TL-L015-100-JPN
最終更新日: 25 Nov 2026
ウェブサイト: Derekprince.com/ja/resources

